



ナレーション ほくスマホが欲しい！



ナレーション ダイキ君は、小学校5年生。ベランダでしょぼりしています。

ジンケンダー 「ジン！ケン！ダー！」

ナレーション そこにジンケンダーが現れました。



ジンケンダー 「どうしたの？」

ダイキ 「スマホが欲しいんだけど、お母さんはまだ早まって買ってくれないんだ。」

ジンケンダー 「そっか。スマホやネットを使うには、色々知らなきゃいけないことがあるからね。」

ダイキ 「そうなの？」

ジンケンダー 「じゃあ僕と一緒に考えてみるのだー！」



ナレーション ジンケンダーとダイキくんはリビングに行きました。そこではお母さんが楽しそうにスマホで写真を選んでいます。

お母さん 「この前みんなが遊びに来た時の写真、ネットにあげよつと。たくさん『いいね』つくかな？」

ジンケンダー 「ちょっと待つのだ！写真をアップするときはちゃんと考えないと危ないのだ！」



お母さん 「みんなもやってるし大丈夫よ！」

ジンケンダー 「あー」

ナレーション するとお父さんが言いました。



お父さん 「何気なくアップした写真からの情報で、名前や住んでいるところ知られて、家族や友達が危ない目に遭うこともあるんだよ。それに一度ネットにアップされた写真は完全に消すことはできないんだ。アップする時は大丈夫な写真かどうか、ちゃんと考える必要があるんだよ。」



ダイキ 「家族や友達を傷つけないように、正しく使うことが大切なんだね。」

お母さん 「大変なことになるところだったわ。ありがとう、ジンケンダー。」

〔☆〕※次、半分だけ見せる



ナレーション 次にジンケンダーとダイキくんは近くの公園に行きました。そこではダイキくんのお母さんが友達とスマホを見ながら話していました。

お母さん 「見てこれ！この前、体育館の窓ガラスが割れてたでしょ？犯人、隣のクラスの田中くんなんだって。見た人もいるらしいよ。」

友達A 「そうなんだ！みんなにも教えてあげよう。」

お母さん 「私も！」〔☆〕※ここで半分から全部見せる

ジンケンダー 「ちょっと待つのだ！それって正しい情報なの？」



お姉さん 「あなたには関係ないでしょ！」

ジンケンダー 「あー」

ナレーション そこに、別のクラスの友達がやってきました。



ジンケンダー 「ルールやマナーを守って、正しく使うことが大切なのさ。ネットの向こう側にも人がいるということを忘れちゃダメだよ。それと困ったことがあったらすぐに大人に相談するのだ！約束できる？」

ダイキ 「うん！指切りげんまん！」



友達B 「どうしたの？」

お姉さん 「見て！体育館の窓ガラスを割ったの田中くんなんだって。」

友達B 「それ違うよ！うちのクラスでは隣のホームルームで、ガラスは台風で割れたって先生から話があったもん。」

お姉さん 「えっ！じゃあこの書き込みは嘘なんだ・・・」



ダイキ 「その後、僕はついにスマホを買ってもらった。ネットは、便利で色々な情報がいっぱいあって、楽しくてつい忘れてしまいそうになるけれど、いつもジンケンダーとの約束を思い出してルールやマナーを考えながら使っているよ。」